

## 目標達成計画

作成日：平成29年4月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所スタッフと地域との繋がりが薄い。少人数の為、地域の行事等に参加しにくい。	スタッフも地域の一員になるよう社会参加や社会貢献できるようになる。地域の方に顔を覚えていただく。認知症ケアの実践の場として、地域の相談の場として開けたホームにしていく。	シフトを調整し校区の夏祭りや防災訓練に参加できるようにする。認知症カフェでの会場設置、後片付け等運営に取り組んでいく。	12ヶ月
2	27	たくさんの気づきや情報はあり、口頭で情報共有できているが、記録に残っていない事がある。	細かい気づき、状況を記録に残し、事業所全体で情報共有し、ケアやプランに反映していく。	BPSDが出現する時の言葉や行動の記録・対応した内容・対応後の様子を記録をする。利用者の状況変化に伴った実践した内容を記録をする。	12ヶ月
3	35	日常的な備えとしての具体的な方策が明確でなく、防災用品等不十分なところがある。災害が起きた時にホームとして、ご利用者、地域に対しての支援を再確認していく。	日常的に災害時の準備ができており、イメージ通りに対応できるようにしておく。実際に必要な物品などを揃えておき、使える状態にしておく。地域に対してホームとしての役割を果たしていくことができるようになる。	防災マニュアルの整備。事業所内の訓練の実施、防災対策の為の勉強会、地域の防災訓練への参加。災害時の必要物品を揃え、管理していく。ライフラインが止まった時の備えを日頃よりスタッフ間で意識付けを行って行く。	12ヶ月
4	4	運営推進会議において、行事以外の会議にはご家族の参加が無い。	参加者を増やしていく事で、多方面の意見を頂く。頂いた意見を運営に反映していく。	ご家族へ運営推進会議の意義をご説明し会議への参加を依頼する。身体状況に応じご利用者も一緒に参加して頂き、意見をお聞きする機会を設ける。	12ヶ月
5	40	献立はホーム長が準備をしており、ご利用者やスタッフの意見や好みを取り入れる機会がない。	ご利用者とスタッフが一緒に旬の野菜や、好みの物を取り入れた献立が作れる。	過去の献立表を参考に、ご利用者と一緒に献立をつくる。旬の野菜でどんな料理が出来るかご利用者の意見等働きかけながら献立を作っていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。